

令和元年 11 月 25 日

市政記者各位

福岡市美術館

開館 40 周年記念シンポジウム

令和 2 年初夏設置の大型屋外彫刻作品を題材にシンポジウム（当日受付可）を開催

福岡市制施行 130 周年および開館 40 周年を記念して、福岡市美術館に設置されることになった、インカ・ショニバレ CBE 氏による大型屋外彫刻作品《ウィンド・スカルプチャー（SG）II》を題材に、パブリックアートについてのシンポジウムを行います。パブリックアートが地域や都市に与える影響について各地の事例を交えつつ、その意味と意義を紐解き、福岡という都市の持つ魅力と可能性、この地にある福岡市美術館の未来についてパネルディスカッションを行います。当日受付のお席もございますので、当イベントの広報、ご取材にご協力をお願いいたします。

作品について

- ・ 作品名：「Wind Sculpture (SG) II」
（「ウィンド・スカルプチャー（エスジー）・ツー」）
- ・ 作 家：インカ・ショニバレ CBE
- ・ 大きさ：7 m(高さ) × 2.5 m(幅) × 2 m(奥行)
- ・ 設置時期：令和 2 年 5 ～ 6 月頃（予定）

福岡市美術館が所蔵する布の柄をベースにデザインされ風を受け、はためく船の帆をモチーフに交流や多様性を表現しています。その姿は古くから、交流により発展し、多様性を受け入れながら、成長してきた福岡市が次のステージへ向けて前進するイメージと重なり、美術館のシンボルとしてはもとより福岡市の新たな顔としてふさわしいものです。



インカ・ショニバレ CBE 大型屋外彫刻作品
《ウィンド・スカルプチャー（SG）II》
（設置イメージ）

開館 40 周年記念シンポジウム

「インカ・ショニバレ CBE のパブリックアートと福岡」

| | |
|-----|---|
| 日時 | 令和元年 11 月 30 日（土）午後 2 時～午後 4 時半 |
| 会場 | 福岡市美術館 1 階ミュージアムホール |
| 料金 | 参加無料 ※当日受付の席もございます。直接会場までお越しください。 |
| 登壇者 | パネリスト：荒木夏実（東京藝術大学准教授）、山出淳也（BEPPU PROJECT 代表理事、アーティスト）、岩永悦子（当館学芸課長） ファシリテーター：三好剛平（伊藤総研株式会社） |
| 記念品 | 当日、ご参加の皆様には記念に《ウィンド・スカルプチャー（SG）II》をモチーフにしたトートバッグを贈呈します。 |



トートバッグ

イベントの詳細は美術館ホームページをご覧ください。

【問い合わせ先】

経済観光文化局 美術館運営部 学芸課（担当：鬼本、岩永）

問合せ：092-714-6054